

スイスソルベンシーテストについて

アーンスト・アンド・ヤング・スイス パートナー フィリップ・ケラー

日本保険・年金リスク学会 平成 20 年度第 6 回研究会

日本アクチュアリー会 平成 20 年度第 4 回例会

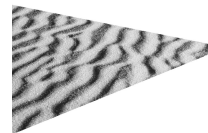
平成 20 年 11 月 17 日（月） こまばエミナース（ダイヤモンドの間）

【司会】 日本保険・年金リスク学会平成 20 年度第 6 回研究会、および社団法人日本アクチュアリー会第 4 回例会を始めさせていただきたいと思います。本日はフィリップ・ケラー様から「スイスソルベンシーテストについて」というテーマでご講演いただきます。フィリップ・ケラー様はアーンスト・アンド・ヤング・スイスのパートナー、アーンスト・アンド・ヤング・ソルベンシー II タスクフォースプロジェクトオフィスのマネージングパートナー、スイスアクチュアリー会および IAA のメンバー、IAA ソルベンシー小委員会の副会長でいらっしゃいます。アーンスト・アンド・ヤング入社以前はスイス連邦保険局にてスイス・ソルベンシー・テスト (SST) ・プロジェクトの責任者兼ボードメンバーを務め、その間に SST モデルの構築から具現化までに向けた対応までを手がけた SST の第一人者であるとともに、金融キャピタルマーケットの第一人者というかたでいらっしゃいます。本日は、このような貴重な機会はなかなかございませんので、日本保険・年金リスク学会、および日本アクチュアリー会の共催ということで開催させていただいております。

それではかなり盛りだくさんの内容となっておりますので、早速ご講演を始めていただきたいと思います。それではケラー様、よろしくお願ひします。

JARIP / IAJ

17 November 2008



スイス・ソルベンシー・テスト

Philipp Keller

ERNST & YOUNG
Quality In Everything We Do

Disclaimer

The statements made and opinions offered in this presentation do not represent the common opinion of Ernst & Young Ltd. The author declares himself solely and uniquely responsible for any advice or other outcome that may be derived from this presentation. In consequence, any liability of Ernst & Young for the content of this presentation is excluded to the extent permitted by the law.

17 November 2008 Page 2 The Swiss Solvency Test

ERNST & YOUNG
Quality In Everything We Do

【ケラー】 ありがとうございます。東京にこのような機会でご招待いただきまして、大変うれしく思っております。残念ながら日本語は話しません、言語の能力がないことを見極めてアクチュアリーの道を選んだ次第です。本日はスイスソルベンシー体制について、ヨーロッパのソルベンシー II リスクベ